

令和3年度 卒業生アンケート 集計結果 (Q4とQ14の比較)

Q4 : 在学中を振り返って、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。

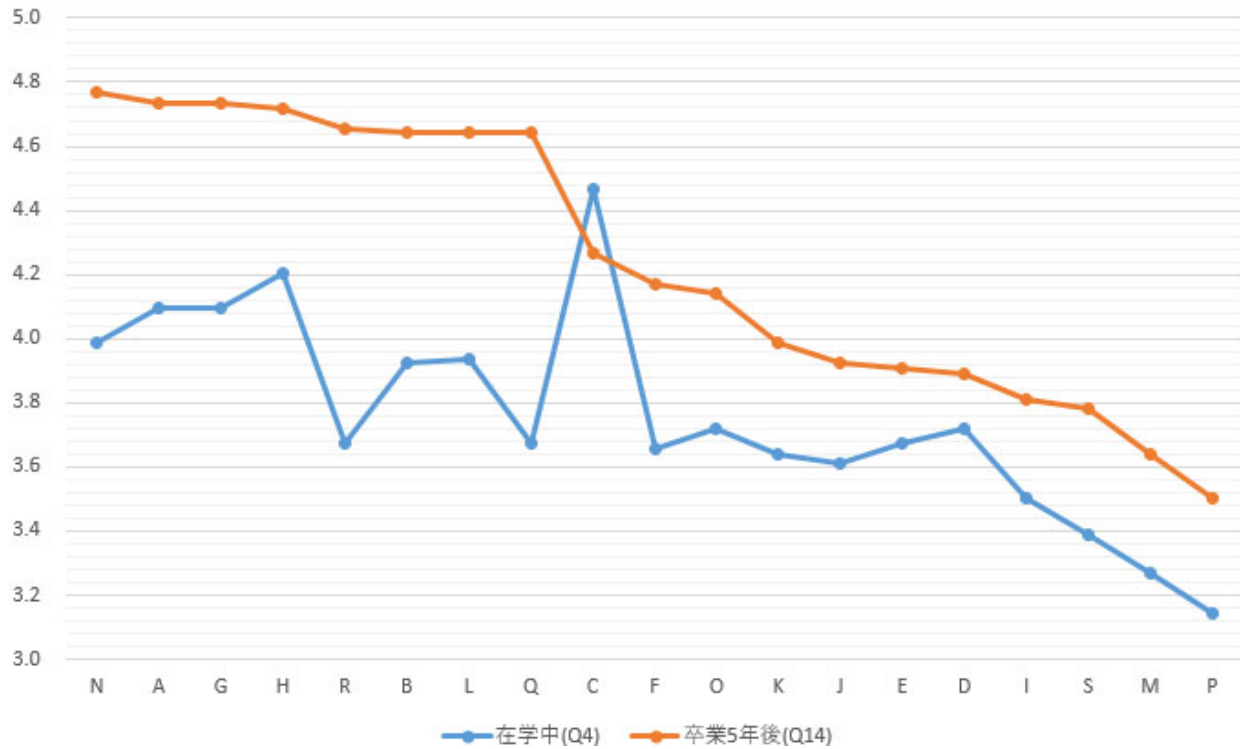
(5大きく増えた/4増えた/3変化なし/2減った/1大きく減った から選択して回答)

Q14: 大学卒業後のあなたの社会経験を踏まえて、大学時代に身につける重要性についてどう考えますか。

(5重要/4どちらかといえば重要/3どちらともいえない/2どちらかといえば重要ではない/1重要ではない から選択して回答)

Q4の能力や知識の「変化」と、Q14の身につける「重要性」について回答した平均値をグラフ化し、Q14の平均値が高い順に並べています。

在学生にとって、先輩が社会経験を踏まえて大学時代に身につける重要性を高く感じている項目を知ることは、学修に取り組む際に参考になると考え、この2設問の比較を行っています。



A. 一般的な教養
B. 分析力や問題解決能力
C. 専門分野や学科の知識
D. 批判的に考える能力
E. 異文化の人々に関する知識
F. リーダーシップの能力
G. 人間関係を構築する能力
H. 他の人と協力して物事を遂行する能力
I. 異文化の人々と協力する能力
J. 地域社会が直面する問題を理解する能力
K. 国民が直面する問題を理解する能力
L. 文章表現の能力
M. 外国語の運用能力
N. コミュニケーションの能力
O. プレゼンテーションの能力
P. 数理的な能力
Q. コンピュータの操作能力
R. 時間を効果的に利用する能力
S. グローバルな問題の理解

卒業生アンケート基本情報／一般社団法人 大学IRコンソーシアムが実施する卒業生調査を利用
 調査対象者：平成28年3月学部卒業生（卒業後5年） 568人
 調査期間：令和3年8月～9月
 実施方法：郵送(マークシート)
 回答者数：64件
 回収率：11.3%